

とちぎ夢大地応援団活動報告（平成27年5月16日実施）

佐野市 多田地区「耕作放棄地の刈り払い」

佐野市多田町の柴田保全会（毛利昭一郎会長）のとちぎ夢大地応援団活動が5月16日、応援団員16名、地元保全会員8名、関係機関3名の合計27名が参加して行われました。

同地区は、平成25年11月に1回目の夢大地応援団活動を行い、1.5haの耕作放棄地の草刈りや灌木の伐採を行い農地を再生させたのを契機に、その後残りの放棄地2.5haも地元保全会員の手で再生を図りました。また、26年度は、夢大地応援団活動の他、地元の保全会員が毎月1回継続して保全活動を行ってきました。今回は、これら再生農地の一斉草刈りを行いました。

その結果、2年前とは比較にならないほど綺麗になったそうです。今回は、地元並びに公社（10台）で用意した草刈り機、応援団員自らの草刈り機約22台で、約4haに及ぶ再生農地の草刈りですっきりさせることが出来ました。地元の人たちは「応援団のおかげで、お墓参りに来る地元の人に見られる大半の農地が、見違えるほど一斉に整備できたと」と感激していました。

また、昼食あとの交流会では、今後の活動への意見交換を行った際、応援団員が「次回の活動にもぜひ参加したい」、地元の人からは「これからもよろしく」との発言が交わされました。

なお、整備された農地に大量のセリが生え、来春にはセリ摘み大会が行われるかも！



一昨年の11月までは、背丈より高い草や灌木で覆われた耕作放棄地（約4ha）が広がっていました



開会式であいさつする毛利柴田保全会長（左端）



広大な農地で草刈り作業を行う、地元並びに夢大地応援団



ひと休み



2時間半の草刈り作業が終了し、きれいになった農地とやや疲れ気味?の応援団員



昼食風景



地元で用意して頂いた昼食後、情報交換会、意見交換会を行いました。